

接頭辞の例

① 小さい、細かい「小川・小舟」 ② 語調をととのえ、表現をよわげにする「小田・小笹」 ③ 少し、わずか「小暗い・小止み」

お 小川 小舟 小田 小笹 小暗い 小止み

① 相手への尊敬「御体を御大事に」 ② 謙譲「よろしく御願います」 ③ 丁寧「御寒くなりましたね」

お 御 + 体を 御 + 大事に よろしく + 御 + 願います 御 + 寒くなりましたね

④ ねぎらい、慰め「御疲れ様でした」 ⑤ やわらかな命令「はやく御行き」 ⑥ 言葉を飾る「御菓子、御風呂」

御 御 + 疲れ様でした はやく + 御 + 行き 御 + 菓子 御 + 風呂

調子を整え、意味を強める「か細い・か弱い」 打消しを表す「不必要・不自然」

か か細い か弱い **不** 不必要 不自然

① 相手への尊敬「ご健康を祈ります・ご覧ください」 ③ 丁寧「ご親切・ご馳走」

ご ご + 健康を祈ります ご + ご覧ください ご + 親切 ご + 馳走

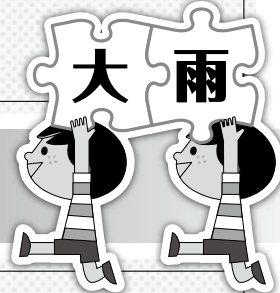
② 謙譲「ご案内いたします・ご報告申し上げます」

ご ご + 案内いたします ご + 報告申し上げます



接辞

語を構成する要素の一つで、単独では用いられず、他の語に付いて意味を付加する働きをする。付く位置によって、接頭辞・接尾辞に分けられる。
接頭語・接尾語とも言う



接尾辞の例

程度・状態を表す「大きさ・深さ・嬉しさ」

さ 大きさ 深さ 嬉しさ

尊敬の意を添える「殿御・親御」

ご 殿御 親御

いかにも…そう、…の様子「うれしげ・言いたげ・大人げない」

げ うれし + げ 言いた + げ 大人 + げ + ない

「ち」の濁音化、年齢を表す「よそじ」

じ よそ + じ

① 所・場所を表す「深みにはまる」 ② 程度・状態を表す「甘み・黒み・ありがたみ」

み 深 + み + にはまる 甘 + み 黒 + み ありがた + み

複数形をつくる「私たち・子どもたち」

たち 私 + たち 子ども + たち

特にそう見える「春めく」

めく 春めく



Word memo

■「休眠預金」

10年以上取引のない口座に眠っている預金。毎年数百億円が発生。今年1月1日から、社会問題の解決や公益活動に活用されることになった。

■「出国税(国際観光旅客税)」

観光基盤の拡充・強化を図るため、1月7日から船舶や航空機を使い出国する旅客を対象に1出国あたり1,000円を徴収。

